

紡がれる想いと言葉

「水木しげるが見た光景」

水木しげるの生誕100周年記念・調布市平和祈念展

2022年10月8日(土) → 11月30日(水) 10:00~18:00 入場無料

休館日 10月24日(月)・25日(火)、11月28日(月)・29日(火)

調布市文化会館たづくり1階 展示室 (新宿から京王線特急で16分 調布駅徒歩4分)

※新型コロナウイルス感染拡大防止について

本展は、調布市の「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき開催します。状況により開催日時等の変更や、入場者数の制限を行う場合があります。文化・コミュニティ振興財団WEBサイトにて最新情報をご確認ください。



主催：調布市 公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団

協力：株式会社水木プロダクション 調布市観光協会

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1 Tel 042-441-6150

後援：調布市教育委員会 J:COM 調布FM 83.8MHz

本展は宝くじの収益金により実施します

©水木プロ

「水木しげるが見た光景」 — 紡がれる想いと言葉 —

調布市名誉市民 水木しげる氏は、自身の経験から、戦争の実態を鋭く描いた作品を数多く残しています。本展を通じて、あらゆる世代の方々に、水木氏が見た戦争の記憶に触れていただきたいと思ひます。

また、水木氏と調布のつながりをご紹介するとともに、その生涯を通じて、作品や著書の中で語られた、人生観の感じとれる「言葉」も取り上げます。

数々の作品や言葉で表現された水木氏の彩る世界から、後世に紡がれていく「想い」や「言葉」を受け取り、平和の大切さを見つめなおすきっかけとしていただければ幸いです。



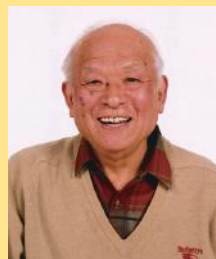
水木しげるが描いた戦争

『総員玉砕せよ!』、『戦艦「比叡」の悲劇』、『白い旗』など、戦争の愚かさ、そこに確かに生きていた人々の姿を伝える戦記漫画から、厳選したエピソードをパネルと複製原画で展示します。



『総員玉砕せよ!』 構想ノートを初公開

自身の戦争体験にもとづく戦記漫画の代表作『総員玉砕せよ!』。新たに発見された直筆の構想ノートをご覧いただける初の機会です。



水木しげる

1922年3月8日生まれ。鳥取県境港市で育つ。太平洋戦争時、激戦地であるラバウルに出征、爆撃を受け左腕を失う。復員後紙芝居作家となり、その後漫画家に転向。代表作「ゲゲゲの鬼太郎」「日本妖怪大全」「河童の三平」「悪魔くん」など。1959年に調布市に移住し、2008年に調布市名誉市民となる。2015年11月30日 没。

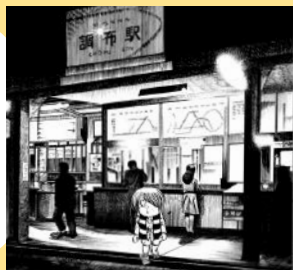
鬼太郎も、河童の三平も、 このまち 調布で生まれた。

水木氏は半世紀以上にわたり、数多くの漫画を調布の街で生み出してきました。『ゲゲゲの鬼太郎』、『悪魔くん』、『河童の三平』など、代表的な少年漫画作品の展示をお楽しみいただくとともに、水木氏と調布のつながりを写真やイラストパネルで紹介しします。



人生と言葉をたどる

水木氏はその波乱万丈な人生のなかで、数多くの名言を残しています。人生観を感じとれる名言の数々にふれるエリアや、言葉とともに人生をたどる新作映像が登場します。



関連イベント

※情報は順次、市ホームページにて公開します。

ゲゲゲ忌2022

水木氏の命日である11月30日の「ゲゲゲ忌」を中心に、スタンプラリーや「ゲゲゲ横丁・ゲゲゲの森」、アニメ特別上映会など水木氏を偲ぶイベントを開催します。

開催期間: 11月19日(土)~30日(水)

イベントに関するお問合せ

産業振興課 Tel 042-481-7183



ゲゲゲのサンドアート

調布市ゆかりの国際的に活躍するアーティスト保坂俊彦氏が、「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターを中心に水木氏の描く世界をサンドアートで表現します。

開催期間: 11月21日(月)~12月20日(火)

場所: 布多天神社境内

内容: アーティスト作品制作・展示、
ワークショップ体験(11月26日(土)予定)



イベントに関するお問合せ

文化生涯学習課

Tel 042-481-7139



お問合せ

公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団
文化・コミュニティ事業課文化事業係
〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1
Tel 042-441-6150
<https://www.chofu-culture-community.org>

